



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of: **FUJIWARA, Kenji et al.**

Group Art Unit: **2834**

Serial No.: **10/030,171**

Examiner: **Not yet assigned**

Filed: **May 16, 2002**

P.T.O. Confirmation No.: **6245**

For: **BRUSHLESS MOTOR**

INFORMATION DISCLOSURE STATEMENT
PURSUANT TO 37 CFR 1.97(b)

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

March 14, 2003

Sir:

The attention of the Patent and Trademark Office is hereby directed to the documents listed on the attached Form PTO-1449. One copy of each of these documents is attached, together with a copy of an Office Action from the Taiwanese Patent Office in connection with the counterpart Taiwanese patent application.

No fee or certification is required in connection with this Information Disclosure Statement, since it is being submitted prior to the issuance of a first official action on the merits or expiration of the three month period following the filing date or the entry of the national stage of the above-captioned application.

The above information is presented so that the Patent and Trademark Office can, in the first instance, determine any materiality thereof to the claimed invention. It is respectfully requested that the information be expressly considered during the prosecution of this application, and that the documents cited in the attached Form PTO-1449 be made of record therein and appear on the first page of any patent to issue therefrom.

The Commissioner is authorized to charge our Deposit Account No. 01-2340 for any fee which is deemed by the Patent and Trademark Office to be required to effect consideration of this statement.

Respectfully submitted,

ARMSTRONG, WESTERMAN & HATTORI, LLP



William G. Kratz, Jr.
Attorney for Applicant
Reg. No. 22,631

WGK/nrp

Atty. Docket No. **020006**
Suite 1000, 1725 K Street, N.W.
Washington, D.C. 20006
(202) 659-2930



23850

PATENT TRADEMARK OFFICE

Enclosures: PTO-1449 and references (3)



INFORMATION DISCLOSURE CITATION PTO-1449	Atty. Docket No. 020006	Serial No. 10/030,171
	Applicant(s): FUJIWARA, Kenji et al.	
	Filing Date: May 16, 2002	Group Art Unit: 2834

U.S. PATENT DOCUMENTS

Examiner Initial	Document No.	Name	Date	Class	Subclass	Filing Date (If appropriate)
_____	AA					
_____	AB					
_____	AC					
_____	AD					
_____	AE					

FOREIGN PATENT DOCUMENTS

Document No.	Date	Country	Translation (Yes or No)
_____ AF H10-126985	5/15/98	Japan	Yes, and Abstract
_____ AG H10-23724	1/23/98	Japan	Yes, and Abstract
_____ AH H10-262359	9/29/98	Japan	Yes, and Abstract
_____ AI			
_____ AJ			

OTHER DOCUMENTS

_____	AK	
_____	AL	
Examiner		Date Considered

21561 CYD

JAN 10 2003
001012

正本

經濟部智慧財產局專利核駁審定書

受文者：三菱重工業股份有限公司、馬場功
先生（代理人：陳長文 先生）

地址：台北市敦化北路二〇一號七樓

發文日期：中華民國九十二年一月九日

發文字號：（九二）智專二（二）001063字

第〇九二二〇〇二一一八〇號

一、申請案號數：〇九〇一一三三七〇

二、發明名稱：無電刷馬達

三、申請人：

名稱：三菱重工業股份有限公司

地址：日本

姓名：馬場 功 先生

地址：日本

四、專利代理人：

姓名：陳長文 先生

地址：台北市敦化北路二〇一號七樓

五、申請日期：九十年六月一日

專利分類IPC(7)：... H02K 29/00, 21/14

2, 5, 6, 2



六、優先權項目：

1 2000/06/02 日本2000-166119
2 2000/11/15 日本2000-347662

七、審查人員姓名：彭恆富 委員

八、審定內容：

主文：本案應不予專利。

依據：專利法第二十條第二項。

理由：

(一) 本案「無電刷馬達」，依說明書之說明係提供一種無電刷馬達，能有效利用磁阻，並使能量密度高密度化。依本發明之無電刷馬達，具有：定子5，及轉子1，具有相對於定子5之側面。定子5包含：複數鐵心10，向半徑方延伸；及複數繞線11，使鐵心10分別形成磁場。轉子1包含：複數永久磁鐵2，及磁力線感應體，位於上述永久磁鐵2與側面間。

(二) 本案無電刷馬達之申請專利範圍，已見於1998年05月15日日本專利公告編號第JP10-23724 126985號（如附件一），說明書全部；1998年01月23日日本專利公告編號第JP10-23724 號（如附件二），說明書之摘要、發明詳細說明【0026】至【0027】、圖式第二圖；1998年09月29日日本專利公告編號第JP10-262359號（如附件三），說明書之摘要、發明詳細說明【0052】、圖式第一至六圖。已揭露本案無電刷馬達、電動汽車（具有：驅

動輪；無電刷馬達；電源電壓供給部）、電車（具有：驅動輪；無電刷馬達；電源電壓供給部）之技術內容及特點，本案係運用申請前既有之技術或知識，而為熟習該項技術所能輕易完成者，故不具進步性。

（三）另本案欠缺元件符號說明，不符規定，一併告知。

據上論結，本案不符法定專利要件，爰依專利法第二十條第二項，審定如主文。

局長
蔡練生

如不服本審定，得於文到之次日起三十日內，備具再審查理由書一式二份及規費新台幣陸仟元（專利說明書及圖式合計在五十頁以上者，每五十頁加收新台幣五百元，其不足五十頁者以五十頁計），向本局申請再審查。

依照分層負責規定授權單位主管決行

初審査拒絶査定書（日本語訳）

2003 年 1 月 9 日

- 一、 出願番号：090113370
国際分類第七版：H02K 29/00, 21/14
- 二、 出願の名称：ブラシレスモータ
- 三、 出願人：三菱重工業株式会社
住所：日本
- 四、 代理人：陳長文
住所：台北市敦化北路 201 号 7 階
- 五、 出願日：2001 年 6 月 1 日
- 六、 優先権主張：1 2000/06/02 日本 2000-166119
2 2000/11/15 日本 2000-347662
- 七、 審査委員：彭 極富 委員
- 八、 査定の内容：

主文：本発明は特許を受けることができない。

根拠：特許法第 20 条第 2 項。

理由：

- 1 本願「ブラシレスモータ」は、明細書の説明によれば、リラクタンストルクを有効利用し、エネルギー密度を高密度化することができるブラシレスモータを提供するという。本願によるブラシレスモータは、ステータ 5 とステータ 5 に対向する側面を有するロータ 1 とを備えている。ステータ 5 は、半径方向に延びる複数の鉄心 10 と鉄心 10 に磁界をそれぞれに生成させる複数の巻線 11 とを含む。ロータ 1 は、複数の永久磁石 2 と、前記永久磁石 2 と側面との間に位置する磁力線誘導体とを含む。
- 2 本願「ブラシレスモータ」の特許請求の範囲は、1998 年 5 月 15 日付公告の日本特許公開 JP10-126985 号(添付資料一)の明細書、及び 1998 年 1 月 23 日付公告の日本特許公開 JP10-23724 号(添付資料二)の明細書の要約、発明の詳細な説明の【0026】から【0027】、及び図 2、及び 1998 年 9 月 29 日付公告の日本特許公開 JP10-262359 号(添付資料三)の

明細書の要約、発明の詳細な説明の【0052】、図 1 から図 6 にそれぞれ既に見られている。それらには、本願のブラシレスモータ、電気自動車(駆動輪と、ブラシレスモータと、電源電圧供給部を具備する)、電車(駆動輪と、ブラシレスモータと、電源電圧供給部を具備する)の技術的内容及び特徴が既に開示されている。本願は出願前の既存の技術又は知識を運用し、当業者により容易に完成できるものであり、ゆえに、進歩性を有していない。

- 3 また、本願明細書は符号の説明を欠いており、規定に合致しないことを併せて指摘しておく。

上記の理由で、本願発明は特許としての法定要件を欠いているため、特許法第 20 条第 2 項の規定により主文の如く査定する。

局長 蔡練生

註：出願人は、この査定に不服があれば、査定書送達の日の日から 30 日以内に、再審査理由書および手数料 NT\$6,000 (明細書および図面の合計枚数が 50 ページを超える場合は、50 ページごとにさらに NT\$500 を納付すること。50 ページに達していない部分は、50 ページとして計算する)を備え、本局まで再審査を請求することができる。